

2011 年 1 月 31 日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2011年4月30日】

団体名 町田福祉レクリエーション研究会

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

町田ニュースポーツ大会 (第三回町田ラインカップ市民大会)

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

地域社会には様々な先行のスポーツ団体が存在している。だがこれらの多くは競技力を第一としたり閉鎖的であることが多い。平均寿命の世界一たる日本においては100歳まで元気に活動し夢のある高齢社会の実現が望まれている。従ってこれからは勝つことを第一としている競技スポーツでなく、幅広い市民が明るく参加できるスポーツの普及こそ必要と考えている。このことより経験があってもなくても、障害があってもなくても共に楽しめるスポーツの開発と普及が大切である。その一つの具体的な活動としてとして取り組みたいと考えている。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

昨年に引き続いて「ラインカップ」の普及のための活動を展開していましたが、町田市の「つながりひろがる地域支援事業」の助成を受けることになりました。これまで「ラインカップ」の一種目だけで考えておりましたが「ペタンク」と「ドッチビー」を加え、合計三種目のニュースポーツで前記目的を追求しました。したがって大会の名称も「第三回町田市民カップ大会」から「町田ニュースポーツ大会」と変更しより広い市民の参加を呼びかけて大会を実施したところです。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

今回は本研究会だけではまかないきれなかったので他のサークルに試合の審判補助をお願いするなど協力体制で大会を推し進めた。また、町田市内の町内会(具体的には中町町内会)の子ども会や老人会の協力を得てチラシの配布等の広報活動をして頂いた。今回はこの様に地域の団体とコラボレーションしつつ活動ができた。今後も様々な工夫をしていきたい。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

今回、町田市および近隣から10以上の団体、100名以上の参加を目標においたが団体数は11で目標に達したが参加人数が65名と目標値を下回った。その理由は今回団体の代表者の了解の下に様々な協力を頂いたが、年度の途中からであったので各団体とも年度当初にない活動に参加させるのが難しかったものと思われる。しかし今回の様に市内の様々な団体の協力を得て実施する形態は町田市全体を活気付けることでもあるので今後とも続けて行きたい。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・~~特になし~~

ラインカップ 一直線に並んだカップを順々に倒していきます。



ドッチビー 両サイドからドッチーを投げてコップを倒し合います。

